

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス おひさまクラス）

○事業所名	社会福祉法人 清樹会 多機能型児童発達支援事業所 日向の杜 （おひさまクラス・放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちがおやつの時間を楽しみにしています。	・手づくりのみそ汁など出来立てのものをお腹いっぱい食べられるようにしています。 ・一緒に大人が食べて、楽しい時間を過ごせるようにしています。	・仲間や大人と一緒に、自分で作ったものをおやつとして食べる機会を増やします。 ・引き続き、日々の積み重ね関係性を深めるために手づくりの温かいものを提供し大人も一緒にほっこりできる時間をつくります。
2	・楽しい、おもしろい、わくわくするような行事を開催しています。	・「クッキング」「たけのこほり」「あそぼう会」「園外活動」「夏まつり」「プール」などを活動に取り入れ、職員と一緒に子どもたちやご家族が楽しめるようにしています。	・家族で参加する機会を増やすことができるように行事の日時を早く伝えます。 ・子どもだけでなくご家族も楽しめるような行事を計画し、日向の杜が楽しいと思ってもらえるようにします。
3	・子どもたちが安心できる場所です。	・活動を通して職員や仲間と関係性を深め、日向の杜にいれば大丈夫と安心感がもてるようにしています。 ・学校や家庭でもない場所でおひさまクラスの仲間といろんな活動を通して自己肯定感を高める事ができます。	・子どもたちが楽しいと思えるあそびや体験を増やし、日向の杜に来たいと思えるようにします。・日向の杜に行けば自分を受け入れてくれる大人がいるという安心感が持てるように信頼関係を築いていきます。。
4	・音楽教室や和太鼓教室を行っています。	・あそびや活動のひとつとして外部の専門の講師をお招きし、リズムや歌、楽器、和太鼓でのあそび、活動を展開しています。その活動の成果をクリスマスお楽しみ会で披露しています。	・専門の講師任せになっているので、同じねらいのもとに講師からアドバイスを頂きながら活動を展開をしていき、職員が工夫していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子どもたちにとって、魅力のある活動が少ない。	・活動の展開の仕方の工夫が足りていません。 ・身体を動かす活動になると消極的にさせてしまっています。 ・職員が一緒になって、あそび込めていません。	・子どもたちへ活動のねらいや目的を伝えます。 ・何のためにしているのか理解できるようにします。 ・職員の連携を深め、一緒になってあそび込み共感します。
2	・保護者さんとのコミュニケーション不足。	・昨年度に引き続き、送迎時に子どもさんのその日の様子を伝えることが業務的になり、お話しする雰囲気づくりまでの配慮まで考えてられています。 ・柔らかな気持ちで保護者の方との雑談も含めた話ができていない為、深掘りできていないです。 ・保護者さんの気持ちを丁寧に引き出せておらず、不安な気持ちにさせてしまっています。	・昨年度に引き続き、子どもさん、保護者さんが安心して日向の杜を利用できるように、丁寧な対応をします。 ・職員同士で相談しあいながら、保護者さんや子どもさんの情報を共有して一緒に保護者さんとの関係性を深めていきます。 ・保護者さんから気軽に話ができる雰囲気づくりをします。 ・保護者さんと連絡帳や面談、送迎時に信頼関係の再構築をします。
3	・保護者同士で語り合ったりする場が少ない。	・行事の時に交流できる内容にはしているが、活動に参加することに全力になってしまい、家族同士で交流する時間の設定・工夫ができていないです。	・おひさまクラス単独のあそぼう会の設定。保護者さんが参加したくなるような行事を開催できるようにします。 ・保護者さんに向けて日々の活動VTR試写会、OB・OGの体験談、ミニ講座、カフェなど「どんな行事ならば参加したいですか？」などアンケートをしていきたいと思っています。
4	・長期休暇になると子どもたちが休む傾向が強い。	・長期休暇中の生活リズムに日向の杜通園の位置付けになっていないです。	・家庭や学校ではできない特別感のある活動や体験を取り入れます。 ・月計画を見て子どもさんがワクワクする仕掛けを作ります。 ・保護者さんがハードルになっているところの調整をできる限りしていきます。（お昼ご飯など）